第42回（平成29年度）
東葛地区親睦少年野球夏季大会

平成29年 8月5日･6日･12日･13日

優　勝　セントラルパークス
準優勝　吉川ドリームス
第三位　リトルイーグルス
第四位　ブラックバード



主　催　東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会
協　賛　柏市･流山市･野田市･松戸市　各少年野球連盟
後　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社 共同写真企画
　　朝日スポーツキッズ

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ

第４２回（平成29年度）
東葛地区親睦少年野球夏季大会

目　　次

東葛地区親睦少年野球夏季大会の優勝旗及び優勝盃 …… 1

第４２回 東葛地区親睦少年野球夏季大会成績表 …… 2

大会概評 …… 3

第４２回 東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名 …… 6

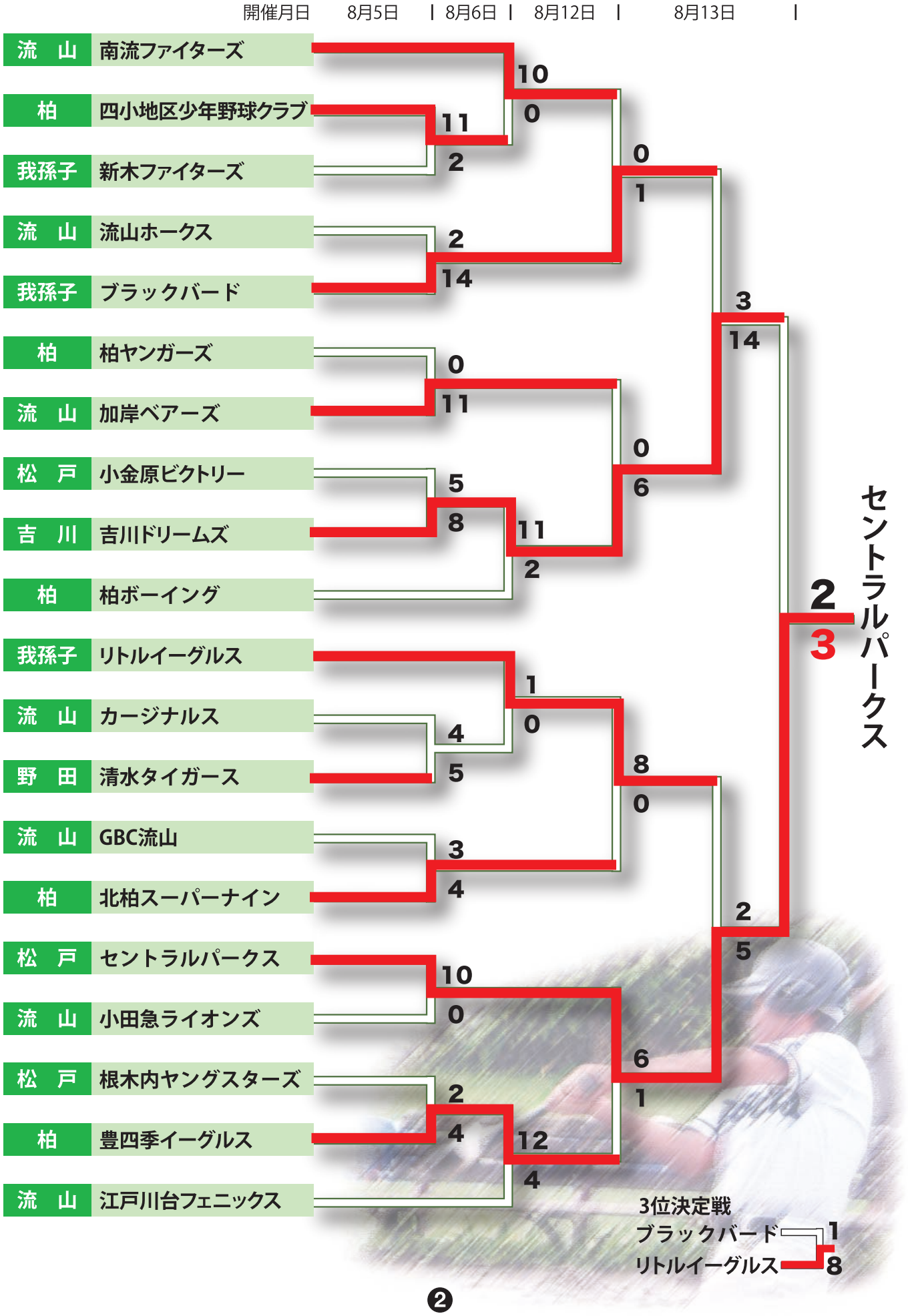
～～～



大会優勝旗



第４２回東葛地区親睦少年野球夏季大会 成績表



☆大会概評☆

セントラルパークスが連覇

準優勝は初出場の吉川ドリームス

第４２回東葛地区親睦少年野球夏季大会は、２０チームが参加して平成２９年８月５日(土)を初日に、６日(日)、１２日(土)、１３日(日)の４日間にわたって野田河川敷グランドに於いて開催された。

今年度は、大会の初日を従来の８月中旬から８月初めの５日（土）からとし、以降の１１日（祝日）を除く三日間での開催に改めたことで、前年度減少した参加チームが若干増加した。

大会を振り返ると、まず初日の８月５日は野田河川敷グランドの４面で、１回戦８試合が行われた。結果は、北柏スーパーナインと豊四季イーグルス、清水タイガース、吉川ドリームスがともに接戦勝ちしたほか、四小地区少年野球クラブ、ブラックバード、加岸ベァーズ、セントラルパークスの各チームは大差勝ちして２回戦に進出した。なお、初日の試合で最も盛り上がったのが、カージナルス vs 清水タイガース戦と、流山ＧＢＣ vs 北柏スーパーナイン戦の２試合で、ともに１点を争う緊迫した接戦は見応えがあった。

２回戦の８月６日は、初日試合の無かったシード山の南流ファイターズ、柏ボーイング、リトルイーグルス、江戸川台フェニックスが登場して４試合を行なったが、南流ファイターズ、吉川ドリームス、リトルイーグルス、豊四季イーグルスがそれぞれ勝ってベスト８になった。

そして三日目の８月１２日は、いよいよベスト４進出を賭けての４試合が野田河川敷グランドのＣ面とＤ面で行われた。Ｃ面第一試合の南流ファイターズ vs ブラックバード戦が０－０から１点を巡る大接戦を展開して、ブラックバードが勝利したのに対し、他の３試合はワンサイドゲームとなって、吉川ドリームス、リトルイーグルス、セントラルパークスがそれぞれ大勝してベスト４に駒を進めた。

なお、この日は当初の予定は決勝戦進出を賭けての準決勝戦も行われることになっていたが、前日来の雨の影響でグランドコンデションが悪く、そのため試合開始時間をずらして準々決勝戦４試合のみとし、準決勝戦以上は最終日の８月１３日にダブルで開催することに変更された。

かくして最終日の８月１３日は、野田河川敷グランドＣ面とＤ面に於いて、まず準決勝戦の２試合と、続いて三位決定戦及び決勝戦が同時に開催された。

準決勝戦はＣ面がブラックバード vs 吉川ドリームス戦、Ｄ面はリトルイーグルス vs セントラルパークス戦となった。このうちＣ面の一戦は、ブラックバードが初回に２点を先制したものの、吉川ドリームスが３回に猛攻をみせて５点を奪って逆転してから、毎回得点を重ねて一方的な展開となって快勝した。Ｄ面の戦いはセントラルパークスが前半３回までに毎回得点の５点を挙げて主導権を奪い、リトルイーグルス後半の必死の反撃を２点に抑えて勝利、決勝戦に進出した。

栄冠を賭けた決勝戦は、セントラルパークスと吉川ドリームスによって争われたが、この試合は緊迫した内容で決勝戦に相応しい戦いとなった。序盤の２回までは両チームとも０点で互

いに譲らず互角の展開だったが、３回に吉川ドリームスが２点を先取したところから、俄然試合は白熱の度を高めた。

吉川ドリームスがこの回一死から３番本田の２ランホームランで２点を挙げれば、その裏セントラルパークスは一死から２番鈴木(隆)の四球に始まり、３番上迫田と４番荒川の内野ゴロ失などで１点を還してから、試合が活発に動き出した。そして４回吉川ドリームスが一死満塁のチャンスを掴むも、セントラルパークス必死の守りで無得点は手に汗握る攻防だったが、セントラルパークスは５回二死から遂に同点に追いついた。

セントルパークスのこの回の攻撃は、先頭打者１番鈴木(宏)の安打から、次打者鈴木(隆)の送りバントでチャンスを掴み、３番上迫田は倒れて二死となったが、ここで４番荒川の中越二塁打撃での同点は見事だった。

これで勢いづいたセントラルパークスは、６回表の一死二三塁のピンチを切り抜けた後、１点を挙げて勝ち越しに成功した。先頭打者７番八島の四球と、８番信太の安打でチャンスを築いた後、９番小林が送った一死二三塁から、１番鈴木(宏)は倒れて二死となったが、ここで２番鈴木(隆)が安打して遂に勝ち越しの１点を挙げた。

結局この得点が決勝点となって、セントラルパークスは栄冠に輝いたが，敗れた吉川ドリームスにとっては、４回と６回先頭打者がともに安打して、それぞれ得点圏に走者を進めながら、決定打が出ず無得点だったのが痛かった。逆にこの２イニングのピンチを０点で凌いだセントラルパークスの頑張りが勝因となったとも言えるが、いずれにしてもこのこの試合は両チームの実力が全くの互角で、勝敗は運不運が紙一重の差で決まった。

なお、優勝したセントラルパークスは前年度に続く連覇であるが、敗れて準優勝となった吉川ドリームスは初出場でその存在を大きくアピールした。

決勝戦と同時に開催したリトルイーグルスとブラックバードの三位決定戦は、我孫子地区同士の対決だったが、初回からリトルイーグルスが毎回得点を重ねて大勝した。

今大会を振り返って、冒頭にも記した如く、開催時期を変更したことが一定成果を挙げた。時期的にこの期間は上部大会や他の大会と重複するケースもあるため、今回の変更措置は完全決定とまでいかないが、次回からは事前にＰＲを強化して１チームでも多くの参加を呼びかけて行きたい。また、最終日の日程は原則的には三位決定戦と決勝戦だけに絞って開催したいが、この点は期間中の天候異変による中止などもあるため、今後は今年度と同様弾力的に対応を図って行きたい。

以下は最終日の成績。

★ 準決勝戦　８月１３日（日）　野田河川敷グランドＤ面

リトル イーグルス	**０**	**０**	**０**		**０**	**２**	**０**		**＝　２**
セントラルパークス	**２**	**２**	**１**		**０**	**０**	**Ｘ**	**時間切れ**	**＝　５**

▽審判：球審・小林（野田市少年野球連盟）　塁審・上野（清水タイガース）
嶋田（小田急ライオンズ）　柿崎（北柏スーパーナイン）

★ 準決勝戦　８月１３日（日）　野田河川敷グランドＣ面

吉川ドリームス	**０**	**０**	**５**		**３**	**１**	**５**		**＝　１４**
ブラックバード	**２**	**０**	**０**		**０**	**１**	**０**	**時間切れ**	**＝　３**

▽審判：球審・加納（大会役員）　塁審・坂本（加岸ベァーズ）
田子（南流ファイターズ）　吉川（南流ファイターズ）

★三位決定戦　８月１３日（日）　野田河川敷グランドＤ面

リトルイーグルス	３	１	１	１	２		＝	８
ブラック バー ド	０	０	１	０	０	時間切れ	＝	１

▽審判：球審・小泉（大会役員）　塁審・糠森（野田市少年野球連盟）
伴野（野田市少年野球連盟）、松本（大会役員）

★決勝戦　８月１３日（日）　野田河川敷ググランドＣ面

吉 川 ド リー ムス	０	０	２	０	０	０	＝	２
セントラルパークス	０	０	１	０	１	１	＝	３

▽審判：球審：八木澤（大会役員）　塁審：村山（柏市少年野球連盟）
星本（柏市少年野球連盟）、緑川（柏市少年野球連盟）

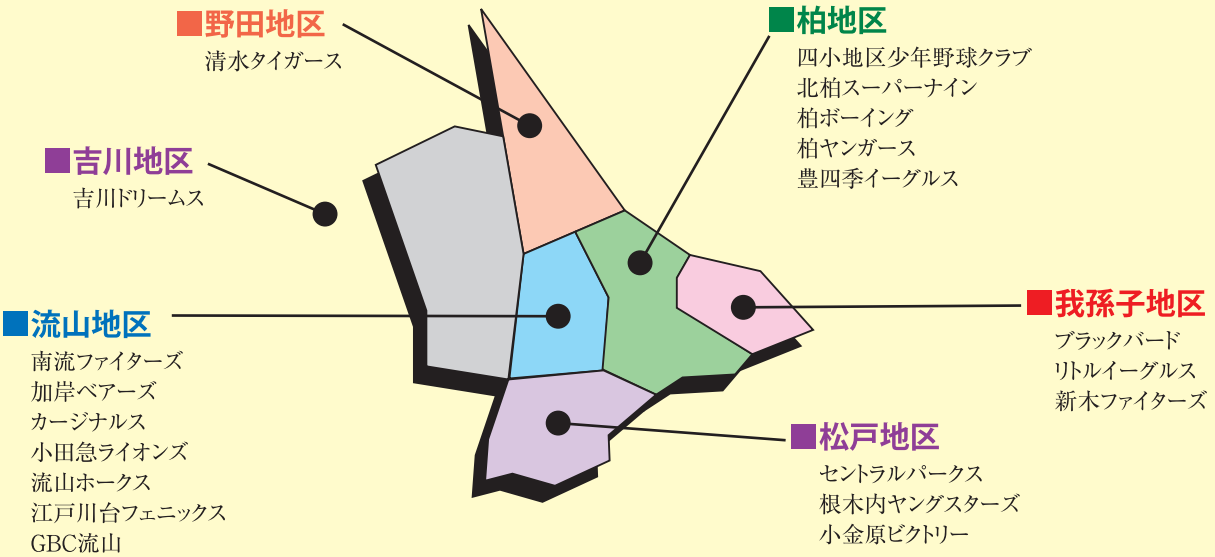








第42回東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名



2017 CHAMPION



優勝 セントラルパークス



準優勝 吉川ドリームス



第三位 リトルイーグルス



第四位 ブラックバード



選手整列



前年度優勝チームから
優勝旗の返還



元気に選手宣誓

開会式

平成29年8月5日
於：野田河川敷グランド

山田会長







優勝旗（上）と準優勝旗（左）の返還

前年度準優勝チームから
準優勝旗の返還










12

熱戦スナップ！

























































受賞スナップ

閉会式

平成29年8月5日　於：野田河川敷グランド







優勝　セントラルパークス







準優勝　吉川ドリームス





東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4

回数	開催年度		出場チーム	優　勝		準　優　勝		第　三　位		第　四　位	
1	1976	昭和51年	14	流山シャークス	（流山）	ブラックバード	（我孫子）	松ヶ丘	（流山）	流山バード	（流山）
2	1977	昭和52年	16	沼南ジャリーズ	（沼南）	流山シャークス	（流山）	高柳サンダース	（沼南）	南部イーグルス	（沼南）
3	1978	昭和53年	36	トライスター	（柏）	四小レンジャーズ	（柏）	沼南ロビンス	（沼南）	名戸ヶ谷アトミック	（柏）
4	1979	昭和54年	48	北柏スーパーナイン	（柏）	沼南イーグルス	（沼南）	四小レンジャーズ	（柏）	加台ボンバーズ	（流山）
5	1980	昭和55年	34	トライスター	（柏）	増尾レッドスターズ	（柏）	沼南ファイヤーズ	（沼南）	北柏スーパーナイン	（柏）
6	1981	昭和56年	40	トライスター	（柏）	沼南ファイヤーズ	（沼南）	リトルジャガーズ	（我孫子）	リアノス	（柏）
7	1982	昭和57年	46	沼南イーグルス	（沼南）	四季野はやぶさ	（流山）	リアノス	（柏）	布施リトルジャイアンツ	（柏）
8	1983	昭和58年	47	リトルジャガーズ	（我孫子）	トライスター	（柏）	豊四季イーグルス	（柏）	名戸ヶ谷アトミック	（柏）
9	1984	昭和59年	61	Aブロック 布施リトルジャイアンツ	（柏）	中新宿ウイングス	（柏）	トライスター	（柏）	千代田ファイターズ	（柏）
				Bブロック 松葉ニューセラミックス	（柏）	流山シャークス	（流山）	カージナルス	（流山）	平井ビクトリー	（沼南友軍・東京）
10	1985	昭和60年	62	リトルキング	（我孫子）	四小地区少年野球クラブ	（柏）	大津ヶ丘ファイターズ	（沼南）	柏ライナーズ	（柏）
11	1986	昭和61年	46	高野台ジャガーズ	（柏）	布施リトルジャイアンツ	（柏）	沼南ジャリーズ	（沼南）	柏ライナーズ	（柏）
12	1987	昭和62年	48	トライスター	（柏）	名戸ヶ谷アトミック	（柏）	柏友ジャニーズ	（柏）	リアノス	（柏）
13	1988	昭和63年	48	柏友ジャニーズ	（柏）	江戸川台アトラス	（流山）	野田ヤンキース	（野田）	トライスター	（柏）
14	1989	平成元年	47	松葉ニューセラミックス	（柏）	千代田ファイターズ	（柏）	トライスター	（柏）	江戸川台フェニックス	（流山）
15	1990	平成2年	60	柏ヤンガーズ	（柏）	千代田ファイターズ	（柏）	流山ホークス	（流山）	豊四季イーグルス	（柏）
16	1991	平成3年	55	高野台ジャガーズ	（柏）	ありんこアントス	（流山）	名戸ヶ谷アトミック	（柏）	柏ヤンガーズ	（柏）
17	1992	平成4年	51	千代田ファイターズ	（柏）	高野台ジャガーズ	（柏）	松葉ニューセラミックス	（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ	（流山）
18	1993	平成5年	56	千代田ファイターズ	（柏）	豊四季イーグルス	（柏）	つくしが丘ファイブス	（柏）	トライスター	（柏）
19	1994	平成6年	58	名戸ヶ谷アトミック	（柏）	牧の原ジュニアーズ	（松戸）	ありんこアントス	（流山）	リトルベアーズ	（松戸）
20	1995	平成7年	50	南部少年野球クラブ	（鎌ヶ谷）	牧の原ジュニアーズ	（松戸）	リトルベアーズ	（松戸）	フェニックス	（鎌ヶ谷）
21	1996	平成8年	46	小金原ビクトリー	（松戸）	高野台ジャガーズ	（柏）	牧の原ジュニアーズ	（松戸）	流南ベアーズ	（流山）
22	1997	平成9年	42	清水タイガース	（野田）	松葉ニューセラミックス	（柏）	南流ファイターズ	（流山）	小金原ビクトリー	（松戸）
23	1998	平成10年	42	千代田ファイターズ	（柏）	流山ホークス	（流山）	松葉ニューセラミックス	（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズA	（流山）
24	1999	平成11年	42	牧の原ジュニアーズ	（松戸）	西原アローズ	（柏）	小金原ビクトリー	（松戸）	泉ライオンズ	（流山）
25	2000	平成12年	32	初石クーガーズ	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）	千代田ファイターズ	（柏）	リトルベアーズ	（松戸）
26	2001	平成13年	38	松葉ニューセラミックス	（柏）	加岸ベアーズ	（流山）	前ヶ崎クラブ	（流山）	牧の原ジュニアーズ	（松戸）
27	2002	平成14年	33	初石クーガーズ	（流山）	千代田ファイターズ	（柏）	南流ファイターズ	（流山）	牧の原ジュニアーズ	（松戸）
28	2003	平成15年	50	千代田ファイターズ	（柏）	串崎スワローズ	（松戸）	東部フェニックス	（野田）	清水タイガース	（野田）
29	2004	平成16年	50	初石クーガーズ	（流山）	加岸ベアーズ	（流山）	カージナルス	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）
30	2005	平成17年	31	初石クーガーズ	（流山）	南流ファイターズ	（流山）	千代田ファイターズ	（柏）	新栄ファイヤーズ	（柏）
31	2006	平成18年	46	ヤングスターズ	（松戸）	久寺家エラーズ	（我孫子）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）
32	2007	平成19年	35	大津ヶ丘ファイターズ	（柏）	小田急ライオンズ	（流山）	南流ファイターズ	（流山）	串崎スワローズ	（松戸）
33	2008	平成20年	34	松葉ニューセラミックス	（柏）	南流ファイターズ	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）	加岸ベアーズ	（流山）
34	2009	平成21年	30	小金原ビクトリー	（松戸）	高野台ジャガーズ	（柏）	清水タイガース	（野田）	南流ファイターズ	（流山）
35	2010	平成22年	34	高野台ジャガーズ	（柏）	高田ウィンスターズ	（柏）	ブラックバード	（我孫子）	ヤングスターズ	（松戸）
36	2011	平成23年	35	加岸ベアーズ	（流山）	ヤングスターズ	（松戸）	新木ファイターズ	（我孫子）	梅郷パワーズ	（野田）
37	2012	平成24年	35	小田急ライオンズ	（流山）	カージナルス	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）	江戸川台フェニックス	（流山）
38	2013	平成25年	25	串崎スワローズ	（松戸）	高野台ジャガーズ	（柏）	小金原ビクトリー	（松戸）	東部フェニックス	（野田）
39	2014	平成26年	20	セントラルパークス	（松戸）	カージナルス	（流山）	高野台ジャガーズ	（柏）	小金原ビクトリー	（松戸）
40	2015	平成27年	21	カージナルス	（流山）	流山ホークス	（流山）	セントラルパークス	（松戸）	高田ウィンスターズ	（柏）
41	2016	平成28年	15	セントラルパークス	（松戸）	根木内ヤングスターズ	（松戸）	北柏スーパーナイン	（柏）	野田ジャガーズ	（野田）
42	2017	平成29年	20	セントラルパークス	（松戸）	吉川ドリームス	（吉川）	リトルイーグルス	（我孫子）	ブラックバード	（我孫子）





東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声をあげる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などの代表者が発起人となって我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降毎年８月の中旬に定期的に三日間開催して来た。グランドは当初は平日と土曜日の開催のため柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿ってきたため、昭和５６年から昭和ゴムが主催していたＳＧ大会と提携して同社のグランドを専用会場とし、開催期間も毎年8月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

また、昭和５７年から毎年１２月の初旬に卒業記念大会も発足させ、当大会は以降８月と１２月に開催されるようになった。なお、発足当初は長瀬ゴム工業及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごう他のスポット後援もあったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場チーム数６１で二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が図られ、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間、昭和５７年には鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場もあり、最盛期となった６０年には６２チームに達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京都葛飾区などからの特別参加チームもあって、規模の拡大を見るとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、近年は大会運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間大会が重複）などが原因で一時ほどの出場チーム数はなく、３０～４０の範囲に定着してきた。

大会の発展にともない平成２年には創立１５周年記念パーティー（会場は昭和ゴム）も開催したが、この年に松戸市からの出場も加わり、さらに平成１４年には三郷市からの出場もあった。

ちなみに、当大会は各市町出場チーム及び関係者の自発的な協力によって役員（運営委員会）を構成運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けていないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業には、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初から歴代役員とともに一貫して実務を担当しているが、近年はこれに各市町少年野球連盟役員諸氏の積極的な協力があり、これに支えられてさらに体制が強化された。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び元割烹川長社長）、５５年から５７年までは鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義昭氏（元沼南町少年野球連盟会長）、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至る。また、平成１４年から松崎公昭氏（元衆議院議員・現カリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会会長）を名誉会長に迎えたが、同氏は平成28年に退任した。

近年の大会会場は、流山市及び野田市各少年野球連盟の協力により江戸川河川敷グランドが主体となっているが、その他にも各地区から数多くの提供があり大会の繁栄に貢献している。また、大会開催時に写真撮影などに協力してくれている共同写真企画並びに地域の子供スポーツ新聞・朝日スポーツキッズは、平成１４年から正式に後援に加わった。

なお、従来から後援のボールメーカー昭和ゴムは、平成１８年にボール製造販売部門から撤退したため、代わって新たにダイワマルエスが後援となった。

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正
平成29年一部改定

大　会　名　夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
　　冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
主催・主管　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
後　　援　ダイワマルエス株式会社
　　柏リトルシニア野球協会（但し、冬季大会のみ）
　　朝日スポーツキッズ　株式会社 共同写真企画
開催期間　夏季大会：毎年８月初旬の土曜日または日曜日を初日として三日及び四日間で開催する。
　　但し、雨天などで中止となった場合は、予備日を設け行う。
　　冬季大会：毎年１２月の第一週を初日として開催する。
　　但し、雨天などで順延になった場合は予備日を設け行う。

目　　的　東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。

出場資格　夏季大会：単独チームで３年生から６年生までの編成によるＡチームのみ。
　　但し、メンバー多数で２チーム出場希望の場合は、役員会に図り承認され場合に限り認められる。
　　冬季大会：メンバーは全て６年生のみとし、単独チームが編成できない場合には5チームまでの混成が認められる。
　　メンバーが多数の場合は２チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督,コーチ,選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。

参加チーム　夏季大会は原則として限度６４チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。

参加会費　原則として、１チーム5,000円。（但し､特別処置として変更する場合がある。）

使用グランド　江戸川河川敷グランド(野田市)、その他各チームから提供されたグランド。

審判当番　①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
　　不履行の場合はペナルティ（失格・次回からの出場停止・その他）が課せられる。
　②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
　★審判当番者は試合開始に際して、必ずグランド整備（準備）をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。
　③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
　④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
　⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし､ローテーションは以下の通りとする。
　a.一日一面で4試合が行われる場合。
　　第一試合の審判は第二試合のチーム､第二試合の審判は第一試合のチームが担当する｡第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
　b.一日一面で4試合の場合(第三試合･第四試合にシードチームが入った場合)。
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが､第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
　c.一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)｡殆どが初日の試合
　　第一試合の審判は第三試合のチーム､第二試合は第一試合のチーム､第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
　d.一日一面で3試合の場合(勝利チームがダブルヘッダーの場合)｡大会二日目
　　第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが､第三試合については第一試合･第二試合の負けチームが行う。(通称:負け残り審判)。
　e.その他組み合わせが変則となった場合大会本部役員で協議し､別途指示する。

⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード（記録用紙）に、得点経過・審判氏名（フルネーム・チーム名）の記入を義務付ける。

◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グランド責任者に提出する。グランド責任者は速やかに事務局に報告してください。

大会規定　最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定（含むグランドルール）を適用する。

①全試合7イニング制とする。（但し、時間・コールドゲームを適用する。）

②試合時間はシートノックを除き1時間30分。それ以上経過して同点の場合は特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)を適用する。なお、シートノックは各チーム5分以内とする。

③コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差で成立する。
但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。
なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。

④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。
7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。

⑤その他、グランドルールは当該グランドの特別ルールを適用する。

⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

⑦大会使用球は、マルエスボールC号。

（投手の投球回数を一試合5イニング（15アウト）までとし、一日10イニング（30アウト）までとする。

◆冬季大会＜卒業記念大会＞特別規則　［六年生大会］

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。
指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。
指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかいない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表彰　優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞は原則としてなし。

補足事項　1.服装は選手及び指導者ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。
但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。

2.選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。
ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチャーともに着用する。
捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

3.冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンバー、グランドコート着用でのプレーが許される。

4.応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員（試合当事者でも可）は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。

5.夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。
（ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1～2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。）
※試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。

6.開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗（規格は特に定めない）を持参すること。

7.入場式では、出場チームの指導者1名（ユニホーム着用）は必ず最後尾に参列する。

8.抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。

9.シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。

10.グランド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。
（バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ・得点版・チョーク）。

東葛地区親睦少年野球大会役員名簿

（平成２７年８月改選）

会長	山田晃一	柏流さよなら、カリフSG旗各野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟役会長
副会長	金丸正孝	元柏市少年野球連盟会長
副会長	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部部長兼務		
審判部部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	流山市・江戸川台フェニックス
審判部副部長	川口祐司	松戸市少年野球連盟役員
事業部長	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	今野正博	野田市少年野球連盟役員
会計監査役兼務		
運営委員(事業部担当)	八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	豊田穣	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	岡野誉	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	八木澤巖	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
運営委員(審判部担当)	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	居倉諭	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス東京営業所長

第42回　東葛地区親睦少年野球夏季大会　会計報告

◆収入の部		合計　¥101,000
大会参加費	@5,000×20チーム	¥ 100,000
ボール販売手数料		¥ 1,000

■寄贈品　ダイワマルエス㈱　(ボール4ダース)

◆支出の部	合計　¥169,834
第41回大会よりの繰越金	▲¥ 29,584
＊大会運営費	¥ 58,600
参加賞用ボール代	¥ 33,600
審判員昼食･飲み物代(4日間) グランド整備お礼その他	¥ 25,000
＊賞状･トロフィー代	¥ 19,190
賞状	¥ 10,000
トロフィー代	¥ 9,190
＊資料代(印刷･製本)	¥ 50,000
HP用掲載データ作成	¥ 30,000
冊子プリント代	¥ 20,000
＊事務局経費	¥ 12,460
抽選会場費　その他	¥ 2,460
HP管理･チーム連絡費	¥ 10,000

収入 ¥101,000円−支出 ¥196,834円=収支合計　¥68,834円は第43回大会に繰り越します。

平成29年8月141日　会計担当　　平田　宗久

平成29年8月14日平田会計担当から提示されました、平成29年度会計帳簿および収支決算書につきまして、
帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。平成29年9月24日

会計監査担当
今野　正博

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!



●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX **04-7197-0115**